

しゅうらく 秋落

～進路だより～

秋桜関係者による

未来創造集落



<NO・5 見えない仕事人に感謝>



テクノロジーの進歩によって新しい物（アプリや道具など）が作られているため生活は便利になっている。しかし、便利な日常が突然制限されてしまうとその環境に適応することに時間がかかるのが現実です。これは新型コロナウイルスから教わったことである。実際、人を特定の場所に集めることを制限された飲食店や娯楽施設（カラオケや映画館など）が試行錯誤をしながら生活している。では、私たちが制限されたら困るものは何ですか？私は「電気」だと思います。電気がない生活を想像してみてください。

①パソコンやスマホが使えないことで仕事やゲームができない

②夜は部屋の中が真っ暗で何もできない。

③電車が動かないので移動手段が制限される

当たり前にあるものは、制限されることによってその価値に気付く。生活を支えている当たり前にあるものを作っている人に感謝をしないといけません。電気を我々に届けている仕事をしている人に感謝をしたい。あなたは電気を届けている「見えない仕事人」であるラインマンを知っていますか？

<ラインマン>

火力発電所・水力発電所・原子力発電所で作られた電気を皆さんに届ける送電線の建設と点検を仕事にしている人です。

<送電線ができるまで>

①仮設工事

(1) 作業現場で使用する作業道具の調達

(2) 作業道具の運搬（山の中で作業する場合は作業がしやすいように工事をする）

②基礎工事

(1) 掘削機を使って数十メートルの深さまで穴を掘る

(2) 鉄塔の脚を支える基礎を作る

③組立工事（鉄塔組立）

- （１）クレーン車を活用して鉄塔を作業場所に運ぶ
- （２）ラインマンが手作業で鉄橋の部品をつなげる工事

④架線工事

- （１）ヘリコプターやドローン（最新テクノロジー）で鉄塔と鉄塔の間に電線を引く
- （２）電線のたるみをラインマンが手作業で修正する

※③組立工事④架線工事に興味関心がある人は進路指導室に、先日「エス・ケイ・エンジニアリング株式会社」の社員の方が資料を下さったので参考にしてみてください。

「見えない仕事人」ラインマンのおかげで日常生活に必要な電気を使えています。ラインマンの方々、当たり前のように使っている電気を渡してくれてありがとうございます。

さらに細かく見れば

- ・仮設工事で使用する作業道具を作る企業
- ・電気を作る発電所
- ・電気を流す導線をつくる企業
- ・鉄橋をつくる企業

などの「見えない仕事人」にも感謝をしなければなりません。ひとつのものを作ることに多くの企業が助け合い協力しています。普段、自分が当たり前のように生活できるのは「誰かの見えない仕事」のおかげです。目の前にあるスマホ・ポスター・筆記用具・ホワイトボードなどを眺めて下さい。「見えない仕事人」の物語を感じることができます。

あなたはどんな「見えない仕事人」として他人を助けますか？

記事の感想や質問などがありましたら QR コードからコメントを書き込んでください。

（文責：中邨）

